中3 夏の合宿ご案内

２０２２年の合宿です。

４泊５日、朝は６時４０分から
夜は２時、３時まで、不思議なもので、
何日も何時間も取り組むのです。
人の意志ってすごいなぁと
合宿でいつも感じます。
「やろう！」とすると、やりきるものなんですね。

　ただし、そこには、合宿を運営し、やりきらせるための多くの工夫があり、現場でうまくいかないときには、生徒にどう取り組ませたらよいかをスタッフ間で頻繁に話し合います。
　その結果、ときには呼び出されて活を入れられる生徒もいます。

　例えば、
（１）合宿前、講習中に、「やる気アップ講座」で先輩の映像を見、先輩の生の話を聴いたり、「先輩からのアドバイス集」を読んだり、聞いたりして、何をすれば夏の勉強や合宿に最適なのかを事前に学習しています。

（２）写真を見てください。

先生９人が勉強している生徒１５人をぐるっと囲みます。生徒１～２人に１人の先生配置です。

うまく進んでいない生徒、少し気が乗らなくなった生徒には、小さな達成感を積み上げ、できる喜び、わかる喜びを味わせます。そのためにベテランスタッフが何をどうやらせれば進みやすいかを、若いスタッフに教えます。またスタッフ同士が生徒それぞれの質問回数や質問内容を報告しあい、１人の洩れもなく勉強が進むように指導の仕方を考えます。

例えば、日頃からなかなか自分では勉強を進められない生徒には、自分の席ではなく、先生の隣にずっと座らせて、手が止まったら先生が声をかけ、そして質問するように促して、集中力を保たせるようにします。

また、「何？」「なぜ？」にこだわっているかいないかを見極めるために、質問の回数が少ない生徒を呼んだり、近くに寄ったりして、「これはどういう意味？」「なぜそうなるの？」とこちらから質問して、何を質問したらよいのかを教えます。

そして、ここまで終わったら見せに来るようにと決め事をし、先生に寄って来やすくし、質問に来ることを促しています。

たくさん質問に来る生徒には、たくさんの「イイネ」を押し続けます。

「なぜ」の部分をていねいにていねいに教え続けると「なるほど！そうだったんだぁ！！」というすっきり感、喜びにつながり、勉強に対するモチベーションがどんどん上がるようです。

合宿中１つの教科だけをやり通すのですが、実はそんなに勉強が進むわけではなく、１つのことにこだわると、１ページ終了するのにこんなに時間がかかるものなんだと実感する合宿なのです。

（３）合宿の時間割を見てください。合宿中１科目だけと言いつつ、初日から３日目まで「英語」の授業を入れています。この英語の授業は、相当ハードルの高い授業です。「受動態テスト」連続２枚８５点以上をとれたら合格。

日程　8月14日～18日（四泊五日12食付）　学習時間45時間＋α

中学3年生（スタッフ6:20集合）　（細部に若干の変更があることもあります）

14日（日）	15日（月）	16日（火）	17日（水）	18日（木）
6:40 塾前に集合	6:00 散歩	6:00 散歩	6:00 散歩	7:30 起床
7:00 出発	6:45 早朝テスト	6:45 早朝テスト	6:45 早朝テスト	8:00 朝食
10:00 イベント1	7:20 朝食	7:20 朝食	7:20 朝食	9:30 弱点克服16
昼食	8:30 授業3 英語	8:30 授業4 英語	8:30 弱点克服11	& 閉会式
12:30 再出発	10:30 弱点克服2	10:30 弱点克服7	10:30 復習タイム	11:00 現地出発
1:30 現地到着	12:30 昼食	12:30 昼食	12:30 昼食	11:15 一宮海岸到着
2:00 開校式	1:30 弱点克服3	1:30 弱点克服8	1:30 弱点克服12	11:30 イベント5
3:30 授業1 英語	3:00 弱点克服4	3:00 弱点克服9	3:00 弱点克服13	1:00 昼食
5:00 休憩	4:30 復習タイム	4:30 復習タイム	4:30 イベント4	3:00 出発
6:30 夕食	6:00 イベント2 夕食	6:30 夕食	6:30 夕食	4:21 上総一ノ宮発
7:30 復習タイム	8:00 復習タイム	7:15 イベント3	7:30 復習タイム	6:00 塾帰着解散
9:00 弱点克服1	9:00 弱点克服5	9:00 復習タイム	9:00 弱点克服14	
10:30 授業2 英語	10:30 弱点克服6	10:30 弱点克服10	10:30 弱点克服15	
12:00 振り返りと	12:00 振り返りと	12:00 振り返りと	12:00 振り返りと	
～ LAPIS の時間	～ LAPIS の時間	～ LAPIS の時間	～ LAPIS の時間	

英語がもっとも苦手な生徒は、テストをするだけではなく、１枚を完璧にして、その後先生の前で１文ずつ英文を音読、音訳する、というものです。

ただ、丸暗記したのではいけません。なぜその答えになるのか、すべて自分で説明できて完璧としています。

この作業を通して、今までこんなに質問したことがない、ここまでわかるまで質問したことがない、そして質問すればするほどわかるんだ、また１回質問してもすぐに忘れ、同じことを何回でも質問しないと定着しないんだと感じるほど質問させます。質問し、ノートまとめし、同じテストをわかるまで完璧になるまで何回もやり直した後に、次のテストに臨むと最初は３０点ぐらいしか取れていなかったテストが次第に８０点、９０点と取れるようになってくる。この達成感が心を気持ちよくさせ、勉強は楽しいと思えるようにさせるようです。

今年も中３生の勉強姿勢は、最初からすばらしいものがありました。合宿では勉強をする！何としてでも弱点を克服する！自分を変える！自分を超える！という覚悟があり、「先輩たちのおしえ」を守ろうと、１０分の休み時間や食事が終わった後の休憩時間には休むために寝て、勉強時間は勉強をやりきる。そしてできるだけ勉強時間を確保するために、毎晩３時までは絶対勉強してやる！とがんばっていた生徒が１０数名いました。その生徒たちに引っ張られるかのように、ほぼ全員が合宿の最初から逃げずに立ち向かい、真剣に勉強に取り組んだのです。

「できるようになる生徒」の第一条件は「まずは何でも素直に取り組んでみることができる。その上で試行錯誤できる」ことです。自分の勝手な判断は、結局は「逃げ」「立ち向かえない」に繋がります。

（４）弱点克服の時間も、前記の英語のように、各科目ごと、一人ひとりごとに、きめ細かにやることを決め、自ら作業し質問に来やすい工夫をしています。

	重点弱点克服科目	二番手
Mくん	英語　長文・単語・現在完了	数学　関数
Kさん	国語　文章問題	理科　仕事(物理)
Nくん	国語　文法と漢字以外のこと	数学　なし
Iさん	数学　図形・一次関数(特にグラフ)	国語　長文・古文
Iさん	社会　地理(世界・日本)	数学　動点・体積を求める
Kさん	英語　文法・単語・前置詞・長文	社会　世界地理(気候・産業・工業地帯)・歴史(人物名・事件名と起きた理由)・公民
Wさん	数学　全部(特に応用)	国語　現代文読解
Kくん	国語　作文・聞き取り古文・現代文	理科　気象・化学・火山・植物
Tさん	英語	数学
Mくん	英語	数学
Iくん	英語　長文・動名詞・現在過去完了・助動詞	数学　図形の面積・体積　証明
Kくん	数学	国語
Sくん	国語　長文・文法	社会　世界地理(産業・中世近世の歴史)
Kくん	英語	
Hさん	数学　根号の計算	理科　電気

（５）試行錯誤＆眠気対策

朝早く起きて、イベントに一生懸命になれば、学習時間に眠くなるのは当然です。

夜遅くまでがんばろうとしますが、夜中いつまでも眠らないでいるわけ

にはいきません。

初日、夜中までがんばった子は、翌日の昼間にうつらうつらすることもあります。しかし、今年の生徒たちは違いました。夜中までやっていた生徒ほど、翌日もうつらうつらせずにがんばって勉強していたのです。休むときはしっかり休む。ずっと前から楽しみにしてきた合宿だから、やりきりたい！という想いが、彼らをそうさせたのだと思います。

僕らは、眠気に勝つことが弱点克服ではない、自分に克つことではない、「何？なぜ？にこだわり続け、夢中になってやることが弱点克服だ！」と言います。

だから最終日も徹夜して勉強することが目的ではなく、とことんやり抜くことが目的なのです。その結果、
途中で力尽きて寝てしまってもいいし、やりきった結果として徹夜となってもいいのです。

想いの通りにやりきった生徒たち。自分はやればできるんだと、自分の成長を実感できる夏の合宿です。

実は、生徒の様子を見て、スムーズに勉強を進ませるために昼寝タイムを設け、眠気調整することもしています。

（６）楽しく新鮮な企画がいっぱい

《その１》バスに乗った直後からカラオケ。

　昨年はコロナでありませんでしたが…

スタッフや合宿に行く仲間。その仲間たちの違う一面をかいま見ることによって、共に学ぶ仲間同士の心の距離を縮め、合宿生活をともに支えやすく、また質問にも来やすいムードを作ります。

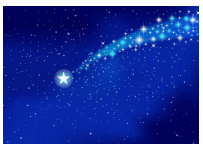
《その２》初日に海（磯）で思いっきりはしゃぎ、別世界を経験させた後の開校式。

「ここから気持ちを切り替えて！」と言い、決意の作文を書かせます。

　自然と戯れる別世界に入ることで、異次元に入りやすいようです。

　浜辺で波に触れる体験。生徒たちは　異次元に入れたようです。

《その３》バーベキューや星の観察。みんなで協力しあうゲームなど１日１つのイベントを楽しみにして勉強に向かいます。



《その４》授業の最初に、先生のモチベーションアップの話（武者語り）があり、先生の失敗談や逃げた話、自分が弱点克服した話などを、それぞれのスタッフが合宿中に１回は披露します。ときには、大笑いさせる一芸も披

露します。そんな話を聴いて、ときには大笑いし、子どもたちは気分一新。すんなり勉強を継続できるようです。

　また、「武者語り」以外にも、各スタッフから素晴らしくタイミングの良い指摘やアドバイスがあり、ハッとさせられ、一生懸命に取り組むきっかけとなるようです。

　ここ最近は、高校のとき野球部だったスタッフが、野球の監督の先生から教わったという「Ａ・Ｂ・Ｃ」
　「あたりまえのことを・ばかにせず（ばかになって）・ちゃんとやる」
　そうすれば「Ａｌｗａｙｓ　Ｂｅ　Ｃｈａｎｃｅｓ（いつもチャンスはまわってくる）」
　この言葉がキーワードになり、子どもたちの心の支えとなっています。

《その５》写真をご覧ください。靴がきれいにそろっているでしょ？
　整理整頓は心を整えるため。禅で言う「調身・調息・調心」の第一歩が身の回りの整理です。席を立ったときは必ず椅子を入れる。履き物は手でそろえて、心を改めて部屋に入る。不要なものはこまめにしまう。机上のものは垂直平行に並べる。そんな行為を通して、学習に正しく向かう心を作ります。

《その６》夜１日の振り返りと朝１日の目標。
　夜９時。各クラスごとにきれいな円陣を組み、その日一日を振り返り、感じたこと、明日への思いを一人ずつ発表します。一緒に学ぶ仲間の想いをじっと受け容れ、自分の想いを受け容れてもらう時間です。
　初日は、中学生特有の茶化しが入ったりしますが、日がたつにつれて、みんながんばっているから自分も頑張れる。机上を垂直平行にそろえた

り、椅子や靴をそろえたり、ホテルの方に元気良く挨拶したり、「いただきます。ごちそうさま。」の挨拶を元気良くする仲間の姿を見ることによって、自分もパワーがもらえる、などの話が出てきます。一人では決してここまでやりきることができないことを言葉に出し始めるのです。そんなお互いの気持ちがお互いを高め合って、とにかくやりきろうという思いが高まります。

そして朝、席が近くの人と４人で１組。昨日１日を過ごして改めて思ったことと今日１日にかける思いを仲間に聞いてもらう。ときには、それを細かな行動に書き表して、意識を高めます。

そう、周りの友達たちって、ライバルではないんです。お互いに支え合う仲間なんです。

疲れたとき、ふっと見上げると、がんばっている友達の姿が見える。だから、自分ももう少しがんばろうって思える。友達の姿から学んでいるのです。そう、学び合う仲間なんです。

仲の良いクラスは成績が上がる。いや、人として成長する。成長する合宿です。

《その７》最終日　海水浴

　初日と同じように大自然の中に体をゆだねる。日頃は、思いきりはしゃぐ体験などできないでしょうが、浅瀬の海で、ばしゃばしゃと遊びましたました。

青春でしたねぇ(^o^)

　正直、やればやるほど、また、そのときどきの生徒や時代背景にあわせて、まだまだ修整すべきところがある合宿だと感じています。

　さらにパワーアップできる合宿にしたいです。

　最大の問題は、田中の年齢（自称８２歳）かもしれません。。。(^^;)

　今しか彼らにつきあってやることはできないという思いから、自分の空き時間もつぶして、休みも取ること無しに夜中まで生徒たちに付き合ってくれるスタッフたち。

　夜、起きてがんばる生徒が一人でもいたらスタッフは最後まで付き合います。スタッフも休み時間をシフトで入れてあるのですが、思いが先立ち、生徒につきあう合宿の日々です。

　合宿最終日、やりきった達成感。最後は、がんばった自分、支えてくれた仲間たちに大きな拍手です。

　そして、最後の最後に自分自身や支えてくれた仲間と握手。

　今年も、感動の合宿でした。

ただし、

　残念ながら、結果がそううまく出るわけではありません。夏休み前から、子どもたちには口酸っぱくして言っていました。

「夏期講習や合宿は、始まり（スタート）に過ぎない」と。
３ヶ月間、「何？」「なぜ？」にこだわって、やり続けて、初めて成績は上がるのだと。

　すぐに上がれば苦労はありません。すぐに上がらずとも、
ただただ３ヶ月、ひたむきにこつこつと続けていく。それしか成績が上がる方法はありません。

机上の垂直・平行、椅子や靴をそろえる。
大きな声で挨拶し、真剣にやる仲間を支える。

まずは３ヶ月続けましょう！

学校が始まり、体育祭の練習も行われ、疲れるでしょうが、１日１０分でも良いですから勉強の習慣だけは崩さぬようにやってみましょう！
期待しています！！